

九州正教会だより 第71号



(福岡・熊本・人吉・鹿児島)

2025年8月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 2-7-1

TEL / FAX 092-410-0540

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



主の変容 わたしたちの変容

司祭グリゴリイ 水野 宏

8月19日は主の変容を記憶する顕栄祭です。顕栄祭の聖体礼儀で読まれるマタイによる福音書には、この主の変容の出来事について次のように書かれています。

「イエスは、ペトロ、それにヤコフとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた」(マタイ 17:1-3)

正教会ではこの出来事を、イエスは三位一体の神の子であり、律法と預言書(モーセとエリヤはその象徴)に記されたメシヤ(救世主)である。それを自らが光り輝く姿に「変容」することによって示したものだと考えています。

つまり主の変容とは、ただ単に「見かけがAからBに変わった」のではなく、「外見でなく本質という意味において、神であるキリストが本来の姿を示した」ということなのです。

さて、私は昨年8月号の会報にこう書いています。

「新教会もつい1年前は糟屋郡の不動産会社が売りに出していた、ただの空き家でした。そこが教会に『変容』するなど、近隣住民も私たち教会側の人々も当時誰が思ったでしょうか。」

その福岡の教会も今月で開設から1年半。新たに洗礼を受けた方、また定期的に参加する信徒も増え、この度ようやく「宗教法人福岡ハリストス正教会」となる見込みがつかしました。

今は司祭館のドアに大きく八端十字を描いた看板を取り付け、2階の一室で祈っていますが、今後は「ここに正教会がある」と誰にも分かってもらえるよう、敷地の拡充と会堂建設の計画に取り組みます。既に多くの皆様からご支援いただいております、感謝の念に堪えません。

しかし、主の変容が「外見が光り輝いた」からではなく、「神としての本質を示した」から尊いと同じように、私たちも会堂という外観以上に、ここに新たな人々が導かれ、既にいる人々と集って共に祈るという「教会の本質」を追求することの方がより重要と考えます。その意味でこの福岡の教会が、今後ますます良い方向に「変容」していくよう努力して参ります。

“Transfiguration” or growth of our church in Fukuoka gives us future hope!